

所属・氏名（健康科学部 心理学科 氏名：赤井 俊幸）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 広島国際大学における障害学生に対する修学支援－聴覚障害学生に対する支援を中心に－《筆頭論文》	共著	平成 22 年 3 月	広島国際大学医療福祉学科紀要 第 6 号 (pp.1～10)	論文全体の概要: 広島国際大学における「身体等に障害のある学生に対する修学支援に関する活動指針」を概説した。そして、この指針に基づいて実践した聴覚障害学生に対する修学支援を報告した。実践の結果、入学前における十分な相談や支援者の安定的な確保、障害学生と支援者との心理的な交流、学外の高等教育機関との連携に関して改善すべき点が示唆された。(ページ数:10 頁) (論文全体の著者名: 赤井俊幸、川上由紀子、鹿島達哉、長澤真由子、加賀谷有行) 担当部分の概要: 活動指針の策定と解説、障害学生への支援、支援についての考察、論文全体の執筆。(担当ページ: pp.1～10、共著)
2 (学術論文)「養護実習」および「教職実践演習(養護教諭)」におけるメディア・リテラシー教育－メディアが関わる健康上の諸問題について－《筆頭論文》	共著	令和 8 年 3 月	広島国際大学基盤教育センター紀要 第 10 号 (pp.53～68)	論文全体の概要: コンピュータやスマートフォンなどのデジタル・マルチメディアを長時間にわたって不適切に使用すると、心理的依存や視力低下、難聴、睡眠障害などの健康問題が生じるおそれがある。これらの予防にはメディア・リテラシー教育が有効である。養護教諭は学校保健の中核として、健康と疾病に関する情報を批判的に読み解き、適切に活用する能力を児童生徒に修得させる役割を担う。本稿では、メディアが関わる健康上の諸問題を概説し、養護教諭養成課程の「養護実習」および「教職実践演習(養護教諭)」におけるメディア・リテラシー教育の意義について検討した。(ページ数:16 頁) (論文全体の著者名: 赤井俊幸、西村太志、田中秀樹、鈴木佳奈、梅田弘子) 担当部分の概要: 論文全体の構成立案、各章の考察・執筆。(担当ページ: pp.53～68、共著)
3 (学術論文) 養護実践力の向上を目指した「教職実践演習(養護教諭)」－心理系養護教諭養成大学のシラバスからの考察－	共著	令和 8 年 3 月	広島国際大学基盤教育センター紀要 第 10 号 (pp.39～51)	論文全体の概要: 心理系養護教諭養成大学各校の「教職実践演習(養護教諭)」の内容の共通点と相違点について整理した。「教職実践演習(養護教諭)」においては、救急処置や保健指導等の基礎的内容は勿論、学校保健組織活動を含む学校経営や組織活動との関連から捉えて職務に取り組む力、教職員や関連専門職、保護者との連携・協働能力を育む内容が必要との示唆を得た。(ページ数:13 頁) (論文全体の著者名: 梅田弘子、西村太志、田中秀樹、鈴木佳奈、 <u>赤井俊幸</u>) 担当部分の概要: 文献等収集・分析。(担当ページ特定不可能)

令和 8 年 4 月 16 日 現在